

SDGsから見る学校給食

SDGsとは「持続可能な開発目標」の略称で、その中には「食」に関する目標も掲げられています。特に、食べられるのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」が大きな問題として取り上げられています。

食品ロスを削減するために、学校給食センターが取り組んでいる活動をご紹介します。

食品ロス削減の啓発活動

給食指導資料動画「きゅうしょくチャンネル」を定期的に作成して、市内の小学校に配布しています。その中で毎年1回、食品ロスをテーマとして取り上げ、給食ができるまでの生産者や調理員の工夫、給食の食べ残しの処理方法や「もったいない」の精神などを児童に伝えています。

各家庭に配布している「給食だより」でも給食の食べ残しの現状をお知らせし、家庭で食品ロスについて考えるきっかけづくりを行っています。



動画「きゅうしょくチャンネル」

廃棄食材の有効活用

新型コロナウイルスの影響で出荷量が減少し、廃棄されていた千葉県産豚レバーを学校給食に有効活用する「レバー食べれば、鉄人になれるプロジェクト」を、令和3年度から行っています。学校給食センターと千葉県食肉公社、加工会社などが連携して、豚レバーを使ったメニューを開発し、毎月1回「鉄人給食」として提供しています。これまで「鉄人ソーセージ」や「鉄人つくね」などを考案し、子どもたちにおいしく食べてもらっています。

この取り組みが高く評価され、1月に千葉県循環型社会形成推進功労者として、県知事から表彰を受けました。



豚レバーを使った鉄人給食



熊谷県知事から感謝状を授与

食品ロス削減の一番の対策は、子どもたちが「おいしい」と給食を残さず食べてくれることです。今後も地域の豊富な食材を生かして、おいしい給食作りに努めます。



広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第11回

1984年(昭和59年) 8月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報いいおか昭和59年8月号を紹介します。

表紙は、若者や家族連れなどでにぎわいを見せる海水浴場での「宝さがし」の様子です。約3,000人が参加し、砂浜は大勢の人で埋め尽くされました。

そのほかでは、当時の夏の恒例行事であった「夏まつり」を報じています。各地区のみこしや小学生の鼓笛隊パレードのほか、自衛隊の音楽隊による演奏も披露されるなど、町を挙げて盛大に開催されました。



夏まつり

昭和59年の主な出来事

- 日本人の平均寿命が男女とも世界一に
- コアラ6頭がオーストラリアから日本に初上陸



広報

いいおか

町の世帯人口

総人口 11,527人 (+6)
男 5,702人 (+5)
女 5,825人 (+1)
世帯数 2,548世帯 (+1)
(昭和59年7月1日現在)
(世帯基本台帳による)



宝さがしは大盛況!!

7月29日に県国海浜で行われた観光協会主催の宝さがし。
この日は、日曜日とあって約3,000人の参加で会場は超満員。宝さがしや電気きりぎりし、トースター、ジュースなどの賞品は、またたく間に完売した。
大盛況となりました。

59/8月号

発行 旭市役所(電話:800-2111) 編集 広報編集委員会 毎月1日発行

表紙